
T V

H A L

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

TV

【コード】

N7908K

【作者名】

HAL

【あらすじ】

気がついたら死んでいた。

私には愛する彼氏がいて、その彼氏の部屋に漂っている。
もしかして、彼が私を……？

私は1人、死の真相を妄想する。
私はなんで死んでしまったのだろう。
それが、少しずつ明らかになる。

(前書き)

少しずつ更新させていただこうと思っています。
未熟者ですが、宜しく願います！

ここはどこなんだろう。

あれ。私、死んでる。

私は多分、幸せだった。
付き合って8年目の今年に婚約をして、私は死んだ。

何で死んだのだろう。なんで死んだのかわからない。
今ここにいることしかわからない。

私は漂っている。
よくイメージされるような、いわゆる幽霊のように人の後ろにくっついていてのではなく、テレビでも観るように、少し空間を隔ててみんなを見てる。
かといって、色んな場所を見られるわけではないようだ。
自分が見たことのある、生前に関係のある空間以外を見ることはできならしい。
その証拠に、目の前にはいつも彼氏がいる。

彼のことを見ていて、自分が死んだことを知った。

彼は泣いている。

しきりに自分を責めている。

ベッドの横の見覚えのあるサイドテーブルには、私が幸せそうに笑

っている写真が飾ってあった。

カレンダーには、私の字で《婚約記念日》と書いてある。

彼が読んでいる私からの手紙には、「やっと婚約できて嬉しいよ！」と書いてあった。

声は聞こえない。

ただ、彼の部屋で、彼の泣いている姿を見ているだけ。

彼がとても悲しんでいるのに、少しも胸が痛まない。

もしかして、彼が私を殺したのだろうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7908k/>

TV

2010年10月22日12時00分発行